

授業科目名	スポーツ文化論		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (応用科目)		
担当教員名	田里 千代				補助担当者名			
単位数	2 単位		履修年次	2年次	受け入れ人数	—		
授業の概要	「スポーツ文化」や「文化としてのスポーツ」の意味を理解する。その中で、スポーツを文化的事象としてとらえる視点と考え方について学ぶ。また、人はどのようなスポーツ文化を創造し展開してきたのかという歴史的背景をふまえて、現代の文化的事象について学び、現代社会におけるスポーツの文化としての価値をどのように見出していくことができるのかを考える。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
				授業期間				定期 試験
	授業	テスト	レポート	発表				
	■認知的領域	文化としてのスポーツの多様なあり方について理解する。	○	○	○		○	
■情意的領域	スポーツと文化に関わることに興味を持ち、問題を発見する「気づき」の力を身につける。	○		○	○			25
■技能的領域	自分の考え方を他者に理解できる文章にまとめる思考力と文章力を身につける。			○				25
成績評価の基準	出席を重視し、授業時の小レポートと発表、試験から総合的に評価する。							
テキスト、教材 参考書	テキスト、教材の指定はない。 主な参考文献は、『知るスポーツ事始め』（石井隆憲・田里千代編著・明和出版）、『図説スポーツ史』（寒川恒夫編・大修館書店）、『スポーツ文化論』（寒川恒夫編著・杏林書院）、『よくわかるスポーツ文化論』（井上俊、菊幸一編著）など。							
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)	日々、新聞を読むこと。興味や関心を広げること。集中できる身体で受講すること。				
オフィス・アワー								
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	田里 千代	スポーツ文化とはなにか						
2	〃	スポーツ用具・用品の文化						
3	〃	ルールと審判の文化						
4	〃	スポーツ観戦文化						
5	〃	遊びとしてのスポーツ①ヨーロッパ編1<馬鹿騒ぎの面々の遊び>						
6	〃	遊びとしてのスポーツ②ヨーロッパ編2<ブラディスポーツと賭け>						
7	〃	遊びとしてのスポーツ③日本編<彩り豊かな日本の遊びとスポーツ>						
8	〃	神ごと/祭としてのスポーツ						
9	〃	価値あるスポーツ文化へ①<遊びから真面目ごとへ：教育と近代スポーツ>						
10	〃	価値あるスポーツ文化へ②<遊びから真面目ごとへ：外来文化と近代教育>						
11	〃	価値あるスポーツ文化へ③<オリンピック>						
12	〃	価値あるスポーツ文化へ④<スポーツと社会貢献>						
13	〃	スポーツとマイノリティという文化						
14	〃	スポーツする身体と文化						
15	〃	スポーツ文化から考えるスポーツのゆくえ						
16	〃	試験						